

# 感染症から生まれる差別・偏見を どうなくしていくかを考える授業をおこないました

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、学校を含めた日常の生活にも、一部に制限があったり、新しい工夫が求められたりする状況が続いています。杏和高校でも、感染予防を続けていますが、新型コロナウイルス感染症には誰もがかかる可能性があることを前提に、身近な誰かが感染してしまったことを考慮した対応も必要となってきました。

そこで今回保健の授業において、1年生全6クラスで新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見について考える授業を実施し、人権を大切にする気持ちを手紙(100文字レター)にしました。

## 「今」

今、新型コロナウイルスに関する差別、偏見のニュースをよく目にします。私はこんな時代だからこそ共に支え合い、励まし合いながら思いやりの心をもって生きていきたい。そして誰かを笑顔に出来る人になりたい。

## 「パズル」

人はパズルに似ていると思う。それぞれ違った個性や特徴をもっていて、互いに欠けている部分を補って生きている。だから自分の個性や特徴を大切にしてほしい。きっと自分を大切にできる人は相手も大切にできるから

## 「自分の本当の笑顔を忘れた君へ」

今が辛いなら逃げればいい。今が辛いなら下を向いたっていい。ただ、今が辛くても命を捨てることだけは絶対にしないでほしい。無理に笑わなくたっていい。大丈夫。いつか心の底から笑える日が来るから。

## 「表情と言葉の大切さ」

新型コロナウイルスにより、マスクなしでは外出することができなくなり、相手の表情が分かりづらくなりました。表情が分からない今だからからこそ相手が傷つかない言葉を選ばなくてははいけない。

### 「見つけ考える」

人の嫌な所を一つ見つけたら、その人の好きな所を二つ見つける。うまくいかなかった時は、うまくいった時のことを考える。そうしたら人をもっと好きになれるし、自分に自信がつく。

### 「ごめんよりありがとう」

席を譲ると「ありがとう」と笑うおばあさん。「ありがとう」と言われたら嬉しい私。何気ない一言だけど、今日も頑張れる。「ありがとう」って偉大だな。

### 「先生の言葉」

「人の良い所に目を向けられる素敵な人になりなさい」私が中学生の時言われた言葉。今も差別に苦しむ人がいることが悲しいです。差別をする前にその人の良い所を見つけ、そこに目を向けられる人であふれてほしい。

### 「言葉」

言葉には、人を幸せにする力や困っている人を救う力があると思う。その反面、人を傷つけたり、時には命を奪うこともあるということを忘れてはいけない。だから言葉を選ぶ時に人の気持ちを考えることが必要なんだ。

上記は、一部作品ですが、多くの生徒が差別や偏見に対して感じたこと、お互いの個性を認め合うことなど、「人権」を大切にすることを手紙にすることができました。

新型コロナウイルス感染症を含め、感染症は誰でもかかる可能性があります。たたかうべき相手は人ではなくウイルスです。感染症への正しい理解と思いやりの心で不安な気持ちを乗り越えましょう。